

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

前立腺癌患者の強度変調放射線治療における治療待ち期間の短縮化と収益性についての検討

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診した前立腺癌患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

- ・選択基準

- 1) 前立腺癌の診断を受けた患者さん
- 2) 治療法として放射線治療を選択した患者さん
- 3) 照射技術としてIMRTを選択した患者さん
- 4) 当院本館で放射線治療を実施した患者さん

- ・除外基準

- 1) 放射線治療を完遂できなかった患者さん

3. 研究の対象期間

2014年8月1日～2025年3月31日

4. 研究の概要

放射線療法は、手術、薬物療法とともに前立腺癌に対する主要な治療手段のひとつとして利用されている。放射線治療法で多用されているのが、体外から病巣を狙って放射線を照射する外照射である。この外照射技術のひとつに強度変調放射線治療(Intensity-modulated radiation therapy: IMRT)というものがある。これは照射する範囲内の放射線の強度を様々に変化させることによって行われる手法であり、この治療技術で行う前立腺癌患者の治療待ち期間が、当院は約11ヶ月(2025年8月1日時点)となっている。ホルモン治療を先行する場合は4～6ヶ月の待ち期間が必要となるが、なるべく待ち期間を短縮可能な方策を模索することで少しでも患者側に有益となれば、旭中央病院の基本理念にも合致する。また、2025年を基準とした場合の千葉県内では2040年の放射線療法需要が20～30%、二次医療圏単位における当該地域では0～10%増加することが見込まれている。このようなことからも治療待ち期間の短縮は必要と考える。そして、方策結果から判断できる収益性の概算と装置更新によって可能となる技術の提供について検討する。

本研究では、これらの結果から当科の放射線治療部門における装置更新のタイミングや採算性といった課題等に対する判断材料の一助とする。

5. 研究実施予定期間

2025年11月19日～2026年6月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、放射線科診察日、IMRTの実施の有無、治療開始日、予約時間、照射時間、リスク分類、年齢、年間治療患者数

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先）地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者： 放射線科 園城敦司

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)